

スズキ、マイクロプラスチック回収装置を搭載した 船外機の生産を開始

—スズキクリーンオーシャンプロジェクトを推進—



マイクロプラスチック回収装置を搭載した船外機(左)、および回収装置(右)

スズキ株式会社は、中型船外機 5 機種に、世界初のマイクロプラスチック回収装置を標準装備し、7 月より生産開始しました。今後、北米、欧州などの主要市場を含めた全世界へ順次出荷してまいります。

海に流れ込む大量の海洋プラスチックごみは近年大きな環境問題となっており、自然環境下で更に微細に破砕されたマイクロプラスチックは生態系に影響を及ぼすことが懸念されています。こうした問題に対処するため、スズキは、船外機に搭載可能なマイクロプラスチック回収装置を開発し、2020 年 10 月に発表しました。この装置を船外機に搭載することにより、ボートで走行するだけで水面付近のマイクロプラスチックを回収することができます。

発表後、同装置のモニタリング調査を日本、米国、欧州地域を含む 14 カ国にて実施しながら改良を重ねてまいりました。今回、2022 年 7 月より DF140BG、DF115BG、DF140B、DF115B、DF100C の 5 機種に標準装備し、生産を開始しました。

この回収装置の船外機への搭載は、スズキの海洋プラスチック問題への取り組みであるクリーンオーシャンプロジェクトの 3 つの活動のうちの 1 つです。

■スズキクリーンオーシャンプロジェクトの概要

1. クリーンアップ・ザ・ワールド・キャンペーン

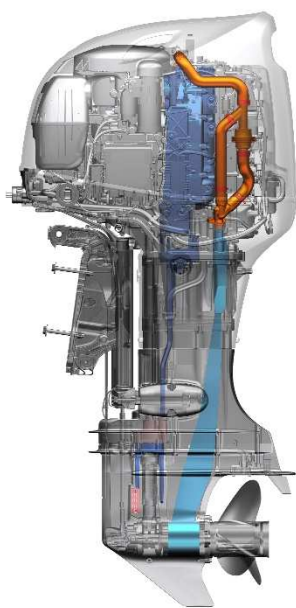
2010 年より行っている、スズキグループの従業員とその家族による水辺のボランティア清掃活動。昨年度までに全世界で 53 代理店、累計参加人数は 1 万人を超えました。本年度より規模を拡大し、活動を継続してまいります。

2. プラスチック梱包材の削減

「①やめられないか、②減らせないか、③環境負荷の少ない材料にできないか」をキーワードに、船外機本体や純正部品のプラスチック梱包材の削減に取り組んでいます。2020 年 10 月の開始以来、累計で 11 トン以上のプラスチック梱包材を削減しており、2022 年度は対象の製品や純正部品を拡大し、さらなるプラスチック削減に取り組んでまいります。

3. 海洋マイクロプラスチックの回収（マイクロプラスチック回収装置の搭載）

これからもスズキは、一層の海洋環境の改善と持続可能な社会の実現を目指し、世界中のお客様と共にスズキクリーンオーシャンプロジェクトを推進してまいります。



マイクロプラスチック回収装置の
搭載位置



DF115B を搭載したボート